

2月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川：左右岸 6.2km～17.8km 管轄出張所：豊川流域治水出張所
実施日		実施区間	吉田大橋～賀茂橋

豊川用水の渇水が深刻だ。昨年（2025年）8月29日に5%の節水が開始され、今年1月28日には節水率が農業用水30%、水道用水17%、工業用水30%に引き上げられたばかりなのに、2月10日にはさらに農業用水40%、水道用水20%、工業用水40%に節水率が引き上げられた。宇連ダムの貯水率は2月20日時点で2.6%、大島ダムを含む全貯水率でも12.0%しかない。

そのような状況の中、2月20日から三上橋のたもとの豊川本流から巨大ポンプ車で汲み上げた水を牟呂用水を經由して豊川用水に流していく「緊急取水」がはじまった。緊急取水は1995年以来31年ぶりということだ。

豊橋市の水道水は豊川用水だけでなく、下条取水場からも取水されている。しかし、ふだんでも満潮の時は下条取水場の下流2kmも離れていない牛川の渡し近辺まで海水が遡上している。渇水で豊川の水量が少なくなる中で、下条取水場での水の確保は大丈夫なのだろうか。4月5月には田植えがはじまり、農業用水の需要が増加していく。状況は決して楽観視できるものではない。私たちもそろそろ腹をくくる時期にさしかかりつつあるようだ。

